

白川・緑川 水系流域治水協議会(第1回) 議事概要

日時 : 令和2年9月30日(木) 15:00~16:10
場所 : ホテル熊本テルサ 3階 たい樹
出席 : (対面)阿蘇市、大津町、菊陽町、西原村、南阿蘇村、宇土市、宇城市、美里町、
嘉島町、益城町、甲佐町、山都町、熊本県、熊本河川国道事務所、
立野ダム工事事務所、緑川ダム管理所
(WEB)熊本市、高森町、御船町

I. 次第

1. 開会
2. 挨拶
3. 議事
 - 1) 白川・緑川における令和2年7月出水概要
 - 2) 流域治水プロジェクト策定に向けて
 - ・流域治水プロジェクト概要
 - ・流域治水対策メニュー確認
 - ・今後の流域対策等についての意見交換
 - 3) 今後のスケジュール
4. 閉会

II. 意見交換での主な意見

- ・「気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会」において、流域治水では関係市町村長が流域全体のリスクを共有する仕組みが必要であること、流域治水の考えを行政だけでなく、住民にわかりやすく伝えることが必要であること、また、中小河川にもリスクがあるためその河川改修も重点的に進める必要があることなどを小委員会で発言させて頂いた。
- ・流域治水対策に関する予算について、人口の少ない自治体についても均等に配分されるのか確認させて頂きたい。
- ・浸水想定区域について、L1 洪水でも浸水経験のない地域が区域内に入っているため浸水想定区域の算出方法を確認したい。また、恒久的に国土強靱化を進めていく必要があるが、緑川の堤防強化や排水機場の能力アップをお願いしたい。
- ・今回球磨川に豪雨をもたらした線状降水帯が少しずつ増えていけば、同様の災害が危惧される。町内には水位計や河川カメラ、雨量計が少なく、もう少し充実をしてもらいたい。
- ・白川下流部や立野ダムに加えて、白川中流部の改修もお願いしたい。町では、市街化区域の区画整理事業で調整池を作り、下流の熊本市への排水影響を軽減するように進めている。小学校の地下に貯水池も作っている。
- ・緑川上流域では森林の大規模な伐採が進んでおり、治水対策の一環として、林野庁との連携

をとってもらいたい。

- ・町では防災における地域のリーダー不足、防災知識の不足を感じている。そのため、防災士育成に力を入れており、日本一防災士が多い町に行きたいと考えている。
- ・国管理河川だけでなく県管理河川や町管理河川の整備も重要と認識している。町では市街地の内水浸水を心配しているが、町の検討だけでは進まないため、国交省等のアドバイスが必要と考えている。昨年に国交省・県河川課と問題解決のための協議会を作っているが、今後も継続して一緒に検討する場面を作ってもらいたい。
- ・住民避難で使用する公共施設について、耐震に加えて、耐水対策の必要性の広報のバックアップを国交省にもお願いしたい。
- ・ソフト対策の一つである避難行動について、要配慮者利用施設の避難確保計画作成の更なる働きかけをお願いしたい。作成率向上に向けて、施設管理者への指導をお願いしたい。

— 以上 —

